

入間東部地区消防組合 当初予算概要

歳入の主な財源は、三芳町・富士見市・ふじみ野市の負担金が全体の95.8%を占め、歳出の主なものは、消防費が全体の87.4%を占めています。

主な事業は化学消防ポンプ自動車および高規格救急自動車の購入、消防団配備の消防ポンプ自動車購入などとなっています。

《歳入》3,323,644千円

費目	収入額
分担金及び負担金	3,184,334千円
組合債	114,600千円
繰越金	11,000千円
その他	13,710千円

構成市町別内訳

各市・町	負担金
三芳町	594,791千円
富士見市	1,152,989千円
ふじみ野市	1,436,554千円

《歳出》3,323,644千円

費目	執行額
消防費	2,905,464千円
公債費	409,730千円
議会費	4,783千円
その他	3,667千円

構成市町別内訳

各市町消防団の運営費	
三芳町	消防団費 24,762千円
富士見市	消防団費 32,182千円
ふじみ野市	消防団費 55,283千円



みんなの消防

入間東部地区消防組合（三芳町・富士見市・ふじみ野市）
 〒356-0058 ふじみ野市大井中央1-1-19 ☎261-6000(代) ☎261-4395
 http://www.irumatohbu119.jp/ ✉shobo@irumatohbu119.jp(代)
 火災の問い合わせ ☎049(263)0119 (音声案内)
 救急病院のご案内 ☎049(261)6031 (休日・夜間)

新消防職員・団員の状況

消防職員（市町村等の消防本部に勤務する地方公務員）

平成27年度は女性1人を含む7人が新消防人として誕生しました。消防組合で定められた定数281人で地域を守ります。

高等学校卒業者	専門学校卒業者	大学卒業者
4人	1人	2人(女性1人)

消防団員（別の職業をもち、災害時には駆けつける非常勤の特別職地方公務員）

平成27年度は総勢24人が「わが市・町を守るため！」新入団員として入団しました。新入団員は団員研修等の教育訓練を受け、地域の住民の安全確保に努めます。

構成市・町	定数	新規入団員	現在員数
三芳町消防団	88人	4人	83人(女性6人)
富士見市消防団	129人	6人	98人(女性3人)
ふじみ野市消防団	135人	14人	108人(女性3人)

平成28年4月1日採用の職員を募集

- ▶試験日・会場…9月20日(日) 入間東部地区消防組合消防本部
- ▶採用人数…消防隊員、救急隊員合わせて5人程度
- ▶申込方法…消防本部・各署・各分署で配布している試験申込用紙に記入し申込。
- ▶申込期間…7月21日(火)～8月5日(木)までに持参および郵送（5日必着）
- ▶申込先…〒356-0058 ふじみ野市大井中央1-1-19
入間東部地区消防組合消防本部総務課職員係 ☎261-6004

消防隊員

区分	受験資格
大卒	平成元年4月2日以降に生まれた人
短大・専門卒	平成3年4月2日以降に生まれた人
高卒(28年3月卒業見込み含む)	平成5年4月2日以降に生まれた人

救急隊員

区分	受験資格
高卒以上	平成元年4月2日以降に生まれた人。救急救命士有資格者または救急救命士国家試験受験有資格者。

活動報告

第38回園児消防見学会



5月20日に西消防署・21日は東消防署で開催しました。三芳町・富士見市・ふじみ野市の幼稚園や保育園等の園児を対象に幼年期における防火教育の一環として毎年実施しています。

1都9県の救助隊員が集結



7月17日、東消防署消防訓練場で第44回消防救助技術関東地区指導会が開催されます。1都9県約700人の消防救助隊員が一堂に会します。会場周辺の混雑が予想されますが、ご理解、ご協力をお願いします。

大規模災害時の消防車両指定給油所

消防組合は、埼玉県石油商業組合入間東部支部（13給油所）と大規模災害発生時に、優先して緊急車両に燃料を補給する契約をしました。また、ステッカーを作成し、各給油所に設置しました。地域住民の皆さんには、ご理解とご協力をお願いします。



←消防車両指定給油所ステッカー



唐沢小学校



三芳小学校



上富小学校



藤久保小学校

各学校はいくつかのテーマを掲げ、計画を練り、その地域の子どもたちに合った教育計画を策定します。

例えば、上富小学校では、栽培や収穫の体験や地域の人々との交流を通し、生命や自然、環境や食物などの理解を深めるために、学校ファーム

学校づくりの教育展開

各活動の充実を図ります。また、三芳東中学校では、人権感覚の向上を図るために、外部機関を活用した人権教室や携帯電話利用に関する講演会を開催するなど、それぞれ創意工夫を凝らした教育活動を展開しています。

地域の特性を活かす

町では、未来を担う子どもたちの心身の健全な育成をめざし、「みらいのぞみ学校創造支援事業」を平成26年度に立ち上げました。この支援事業の特徴は、各学校の特性、児童生徒の実態、地域の人材や環境に適した創意工夫ある学校づくりを推進するものです。

みらいのぞみ 学校創造支援事業



豊かな知性と感性を

平成26年度の各学校の掲げたテーマと取り組みの一例は下記の表をご覧ください。1年間の取り組みを通して、学力向上が図られたり、地域への理解がより深まるなど、子どもたちに変化が見られました。

平成27年度も引き続き事業を継続し、町と学校が連携を図りながら、未来に生きる児童生徒の豊かな知性と感性をはぐくんでききます。

平成26年度 各学校の取り組みの一例

学校名	テーマ	取り組み
三芳小	生活に生きてはたらくことばの力を育てる指導法の研究	国語の授業を中心に、言葉によって適切に表現できる児童の育成を図りました。
藤久保小	子どもたちの心を豊かに育てるために～道徳・人間関係づくり～	道徳や特別活動の授業実践を行い、児童の心を豊かに育てることをめざしました。
上富小	人、自然、地域とのかかわりを重視した農業体験活動	学校ファーム活動を充実させ、情操や生きる力を身に付けた児童の育成をめざしました。
唐沢小	学校・保護者・地域が一体となり、計画的に取り組む学校応援団の推進	学校応援団全体会議を開催し、児童の学習支援や安全確保、学校の環境整備の充実を図りました。
竹間沢小	子どもたちの思考力・判断力・表現力を高める国語科の実践的な研究の推進	授業公開や授業研究会、講演会等を実施し、ともによりよく生きる児童の育成を図りました。
三芳中	確かな学力を育む授業改善及び家庭学習の定着に向けた研究の推進	授業改善を実現し、家庭学習の定着への取組を通して生徒の「確かな学力」の育成を図りました。
三芳東中	人権感覚の向上の推進	人権感覚育成プログラムを活用し、思いやりと感謝の気持ちを持った生徒の育成をめざしました。
藤久保中	地域に根ざし、自ら考え進んで行動する生徒を育成する学校づくり	一人ひとりに応じた指導や支援を行い、社会性、生きる力を身に付けた生徒の育成を図りました。

今月は、創意工夫ある学校づくりへの取り組みの一環として平成26年度から開始した支援事業を紹介します。

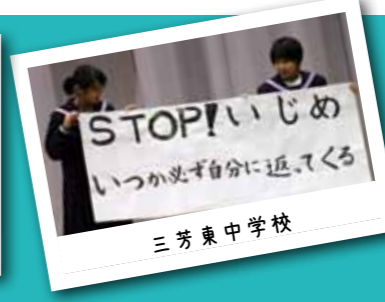
教育だより
 園 学校教育課（内線523）



竹間沢小学校



三芳中学校



三芳東中学校



藤久保中学校